

みなさん、よいお年をお迎えください。

2019年もあとわずかとなりました。令和という年号もいつの間かになじんできて、来年はいよいよオリンピックイヤーです。今回のリビングイン宮崎は、日本の年末年始についてご紹介します。

まず、年末年始はいつからいつまでのことを言うのでしょうか。日本の官公庁や民間企業では、12月28日に仕事納めをして29日から1月3日までがお休みとなるところが多いので、一般的にはその期間が年末年始と言えるでしょう。日本人にとって、新年を迎えることはとても大切なことで、お正月は新しい年の始まりとして一年のうちでも特にいろいろな行事が行われます。そのため家庭でも昔からの伝統的な年末年始の過ごし方を好む人が多いようです。

日本人の伝統的な年末の過ごし方といえば、

- ① 大掃除のあと、鏡餅かがみもちや門松かどまつ、しめ縄などのお正月の飾りつけをして、すがすがしく新年を迎える準備をします。
- ② おせち料理のための買い物をし、料理をつくります。「おせち料理」とは、お正月に食べる伝統的なお祝いの料理です。おせち料理の食材にはそれぞれに意味があり、縁起が良いとされるものが使われています。
- ③ 大晦日おおみそか（12月31日）はおそばを食べながら、新年を待ちます。
- ④ 初日はつひの出を見に行きます。新年最初の日の出のことを「初日はつひの出」と言います。神道では太陽は最も神聖なものであるとされていることから、人々は初日はつひの出を拝み、みんなの幸せと健康を祈願します。



そして、年が明けて新年を迎えたら、

- ⑤ 元日がんにじつの朝に家族そろっておせち料理を食べ、お屠蘇とそを飲んで新年を迎えます。
- ⑥ 初詣はつもうでに行きます。「初詣はつもうで」とは、新年に初めて神社やお寺へお参りすることです。



去年一年への感謝を捧げ、新年が良い年になるよう祈願します。元日の朝に「初日はつひの出」

を見るのと合わせて出かける人も多いです。一般的に 1 月 7 日までの期間に行います。

年末年始は、普段は離れて住んでいる家族や親せきと会い、「家」の絆を確認するよい機会となります。家庭ごとにいろいろな年末年始の過ごし方がありますが、新年が家族みんなにとって良い年になるように願うのはどの家庭でも共通です。さあ、みなさんはどのような年末年始を過ごしますか？

今年一年このリビングイン宮崎をご愛読いただき、どうもありがとうございました。皆さんの 2020 年が素晴らしい年となりますように。また来年もどうぞよろしくお願ひします。このコーナーへのご質問、ご意見、ご要望は：(公財) 宮崎県国際交流協会
TEL 0985-32-8457 FAX 0985-32-8512 E-mail miyainfo@mif.or.jp